事前評価シート

担	当	課	農村計画課
担	当	名	計画調整担当
作	成年	月日	平成27年8月12日

事	業	名	畑地帯総合整備事業(担い手支援型)		
筃	所	名	払川第2-2期	市町村名	都城市

実 施 方 法	実 施 方 法 ■ 補助 □ 交付金 □ 県単					
事業費	全体事業費	国 費(50%)	県 費(31.7%)	地 元(18.3%)	一般財源	
(百万円)	912	445.1	304.0	162.9		
事業期間	事業着手	目標完成年度				
事業期間	平成28年度	平成33年度				

総1	総合長期計画上の位置付け ■ 有 □ 無 コードル コール コードル コードル					
				1「儲かる農業」の実現		
細	項	目	名	(4)農業の持続的発展を支える生産基盤の整備		
				①農業用水の安定供給と畑地かんがい営農の推進		

全体計画

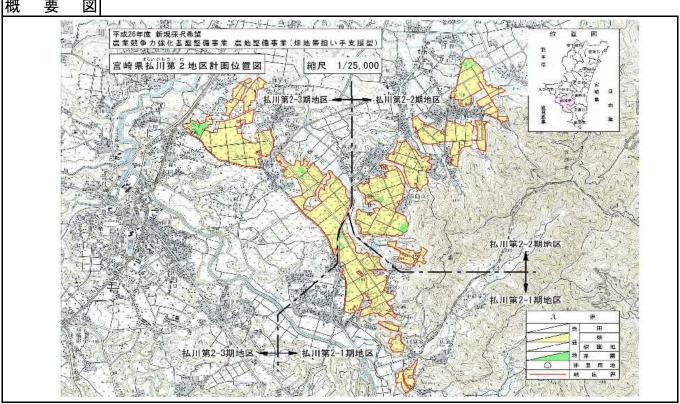
受益面積 A=101ha

- -農業用用水施設整備(畑地かんがい) A=101ha (L=16,900m)
- L=4,090m
- ·客土(反転客土) A=10ha

事業目的

畑作農業経営の持続的な発展を図ることを目的とし、畑作経営の多様性に留意しつつ、生産性の 合理化に必要な基盤整備を行うとともに、営農環境整備を一体的に行うことで担い手農家等の経営 安定を図る。

概 要



事前評価シート

事 業 名	畑地帯総合整備事業(担い手支援型)
箇 所 名	払川第2

(1)事業の重要度に関する評価

評価の視点	評 価 項 目	審 査 項 目	判 断 基 準	配点	評価点
		○各種計画への位置付けに関する事項	別表 1)参照	6	6
		・宮崎県の農業・農村振興長期計画での位置付けの有無		2	2
	①上位計画との関連 性に関する事項	・市町村の農業振興地域整備計画等の各種計画での位置		2	2
	1213.7 3 7 3	付けの有無			2
成立性		・事業管理計画での位置付けの有無		2	2
从业压		〇他事業との関連性に関する事項	別表 2)参照	4	4
	②他事業との関連性	・他事業との関連性の有無		2	2
	に関する事項	・関係機関(河川、道路、文化財)と協議、調整		2	2
	小 計			10	10
		〇地区の状況に関する事項	別表3)参照	15	15
		・国営事業との関連状況		5	5
		・農業農村整備事業の関連状況		2	2
		・用水条件		8	8
		〇農業生産性に関する事項	別表4)参照	25	21
		・耕地利用率		6	6
	③事業による効果に 関する事項	・耕地利用率(増加ポイント)		4	2
	因りの事項	・農業経営状況		12	12
		・営農施設(ハウス)等整備計画		3	1
		〇担い手に関する事項 	別表5)参照	10	5
必要性		・担い手経営面積のシェア率(担い手支援型のみ)	-	6	4
有効性		担い手経営面積のシェア増加ポイント(担い手支援型のみ)		2	0
		・担い手経営面積の増加率(担い手育成型のみ)		2	0
		・人・農地プラン		10	1 8
	④施設の維持管理体	〇施設の維持管理体制に関する事項 (4-7-7-7-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	別表6)参照	10	8
	制に関する事項	・施設の予定管理者		10	0
		0.7714 0.77		10	8
		〇環境との調和への配慮に関する事項 	別表7)参照	2	2
	⑤環境への影響に関 する事項	・田園環境整備マスタープランとの整合性 ・環境に係る情報協議会等		2	2
		・ ・ 自然環境への配慮・保全		6	4
		・日然現境への配慮・休主			•
	小計			70	57
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	別表8)参照	20	13
		・受益者の意向	212x 4 x 2 2 3W	5	0
	⑥地元の合意形成に 関する事項	・地元推進体制の整備		5	5
実行性		・営農推進体制の整備		5	5
		・住民参加による計画策定		5	3
(0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,	小 計			20	13
合	計			100	80

評価項目	評価結果
費用対効果(B/C)	1. 32

(3)総合評価

評価項目	による判定結果	判 定 結 果
重要度ランク	I	優先的に事業を実施する必要がある。
事業効率	B/C≧1. 0	変元的に事業を失応する必安かめる。